

# 木もれび

いきいき教室の取り組み

# いきいき教室の流れ

事前訪問→試し利用、初期評価→目標設定

応援会議→サービス担当者会議→本利用

# 応援会議

プログラムの見直し、重要ポイントの確認  
必要であれば再評価

その後にサービス担当者会議→通所スタート

# 訪問と通所の組み合わせ

実際の住環境に合わせてプログラム作成  
(起居動作、またぎ、段差昇降)

ホームエクササイズ

デイリーノート

通いの場へ繋ぐパイプ役

# 実際の住環境に合わせて

ADL動作練習をより具体的に！

そのための工夫として

ADLシュミレーションシステム

シュミレちゃん1号を用いた実行方法の確認

浴槽のまたぎ(立位バージョン)



浴槽のまたぎ(座位バージョン)



## シュミレちゃん1号を用いた実行方法の確認

上がり框の昇り



ベッド上での起き上がり



# ケース報告 利用者A

- くも膜下出血後遺症  
（軽度右麻痺、構音障害）
- 屋内歩行は伝い歩き
- 外出したいが怖い  
（体力、土地勘の乏しさ）

# 目標設定

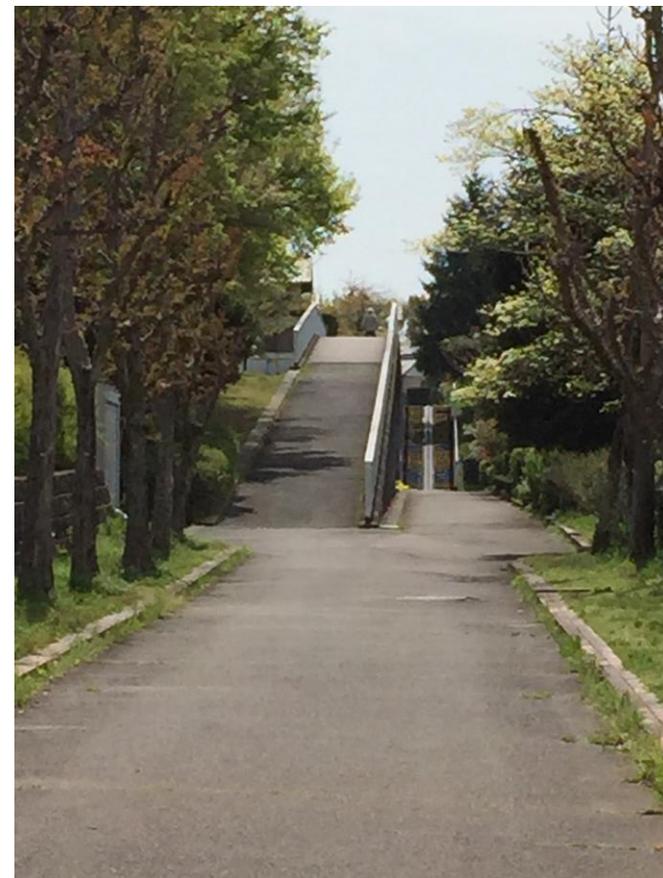
- 1年目標 買い物や美容院へも行きたい
- 半年目標 近所の喫茶店へ独りで行く  
安全に入浴できるようになる

# 支援のポイント

- 屋外歩行の方法



- 日中の過ごし方



# 支援内容

- 住環境の調整（フロ、玄関周り）
- 自宅で取り組む運動
- 外出機会の確保  
（包括、エプロンサービス、PTが連携）

導入 1 2 3 4 5 6

# 導入期

- 住環境の確認（居室、浴室、玄関周り）
- 外出先の確認（距離、経路、路面）
- 移動能力の評価（リスク、歩行耐久性）
- エプロンサービスと連携  
（リスク管理、経路の伝達）

# 1ヶ月目

- 入浴動作練習（デイサービス内）
- 歩行練習（自宅での取組みの指導）
- エプロンサービスと連携  
（外出経路の確認）

# 2ヶ月目

- 入浴動作練習 (デイサービス内)
- 歩行練習 (確認、再設定)
- エプロンサービスと連携  
(外出状況の確認)

# 3ヶ月目

- 入浴動作練習 (見守りで可能)
- 歩行練習 (耐久性向上を目指して)
- エプロンサービスと連携  
(経路の再設定、距離延長)

# 4ヶ月目

- 入浴動作練習（デイサービス内）
- 歩行練習（運動強度を増して）
- エプロンサービスと連携  
（外出状況の確認）
- 本人の意向の再確認、再評価
- 通いの場の提案、経路の設定

# 5ヶ月目

- 歩行練習（継続）
- エプロンサービスと連携  
（外出状況の確認）
- 通いの場へデビュー  
（段取り、付き添い）

# 6ヶ月目

- 最終評価（生活状況や目標達成度）
- エプロンサービスと連携  
（外出経路の再設定）
- 通いの場への再訪  
（継続利用を目指して）

# 卒業のポイント

- 当初の課題が解決されているか
- セルフケアに繋がっているか
- 本人、家族への説明

# 卒業された方の状況

# まとめ

- 今ある資源、能力の中でどうするか
- 通所サービスでの内容をいかに  
利用者の日常に落とし込んでいくか

# 課題

- 外出支援の方法
- 外出先（通いの場や運動、趣味活動の場）
- 継続的な支援の要、不要の判断

終わり

ご静聴ありがとうございました